

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	塚本駅前にこここツリーハウス		
○保護者評価実施期間	2025年 1月 14日		～ 2025年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30	(回答者数) 19
○従業者評価実施期間	2025年 1月 14日		～ 2025年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 15日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<ul style="list-style-type: none"> 療育担当者は全員保育士資格保有 保育所、幼稚園勤務経験者あり 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちが日々、集団生活で何が困っているかを受け止め、タイムリーに療育に取り入れアプローチしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちが通所している園訪問することで園での様子を知り、先生たちとも情報共有を深めることで、子どもたちの過ごしやすい環境を整えていく。
2	<ul style="list-style-type: none"> 食育プログラムの実施 	<ul style="list-style-type: none"> 食に対して、こだわりが強い、偏食など悩みを持つお子様に対して「たべること」の楽しさや大切さを伝える。 季節(旬)や栄養素にも意識を持ち、健康的な生活にも意識を向けている。 食事のマナーや食具の正しい持ち方を伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> さまざまな角度から「食」を楽しむことができるようにキノコ栽培や野菜を使った実験、行事食や世界の料理などにも着目していきたい。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	利用者と地域との交流機会や、保護者同士の交流の機会の提供不足。	<ul style="list-style-type: none"> 年間の計画として、保護者参加イベントの年1回の企画のみで、立案できていない。 平常時の「本人支援」に重点を置いているため、地域支援、地域交流に対する情報収集不足。 	<ul style="list-style-type: none"> 研修会や保護者交流の企画立案と内容に関しては、保護者の意見やニーズを聴取しながら計画していく。 安全に考慮しながら、地域との関わりの機会を増やしていく。また、地域活動などの情報収集も積極的に行なっていく。
2	保護者の方への緊急時、非常時等への対応に対する周知、発信不足。	防災への取り組みや緊急時の対応マニュアル等の作成はされているが契約時のみの説明と事業所内掲示のみにとどまり、周知機会が不足している。	防災への取り組みや緊急時の対応に関して、内容を確認しながら保護者周知に努める。必要時、冊子の作成。HUGやホームページ等を通じて、保護者の方々へ発信していく。
3			